



T2212 PRINTER

型式
T2212-PRINTER
T2212-SWARE-PRINTER

文書番号# 412-121037 改訂版 1

著作権について

本書および本書翻訳内容の所有権は、TE Connectivityに帰属します。

本来の使用目的以外での本書の一部または全部を複製、
改変、転載・転用、配布する場合は、TE Connectivity社の書
面による事前の承諾が必要です。

商標

Windowsは、Microsoft Corporationの登録商標です。

編集内容

ご質問およびご意見は、TE Connectivityにご連絡ください。

記載内容の更新について

本機器は継続的に技術開発が行われているため、本書に言及
されている内容と機器で相違が生じる場合があります。

本書の最新版については、TE Connectivity社の最寄の販売代
理店にお問い合わせください。

1	序文	4
1.1	注意事項.....	4
1.2	適切な使用.....	4
1.3	安全に関する注記.....	5
1.4	環境.....	5
2	インストール	6
2.1	機器の概要.....	6
2.2	機器の開梱および設置.....	8
2.3	機器の接続.....	8
2.3.1	電源に接続する.....	8
2.3.2	コンピューターまたはコンピューターネットワークに接続する.....	8
2.4	機器のスイッチをオンにする.....	8
3	タッチスクリーンディスプレイ	9
3.1	スタート画面.....	9
3.2	メニュー内のナビゲーション.....	11
4	材料を挿入する	12
4.1	ロール材料を挿入する.....	12
4.2	ラベルエッジセンサーを調整する.....	13
4.3	転写フィルムを挿入する.....	14
4.4	転写フィルムフィードを調整する.....	15
5	印刷操作	16
5.1	切取りモードでの印刷.....	16
5.2	カッティングモードでの印刷.....	16
6	清掃	17
6.1	清掃に関する注記.....	17
6.2	プリントローラーを清掃する.....	17
6.3	プリントヘッドを清掃する.....	18
7	トラブルシューティング	19
7.1	エラー表示.....	19
7.2	エラーメッセージとトラブルシューティング.....	19
7.3	問題解決法.....	21
8	許認可	22
8.1	EU適合性宣言書に関する注記.....	22
8.2	FCC.....	22
9	索引	23

1.1 注意事項

本書では、重要な情報および注記には以下のマークが付けられています。

**危険!**

危険な電圧による健康または生命に差し迫った重大な危険が生じることについての警告を示しています。

**危険!**

回避しなかった場合、死亡や重傷を招く非常に危険を伴う状態についての注意を示しています。

**警告!**

回避しなかった場合、死亡や重傷を招く中程度の危険を伴う状態が生じる可能性があることについての注意を示しています。

**注意!**

回避しなかった場合、中程度または軽度の負傷を招く僅かな危険を伴う状態が生じる可能性があることについての注意を示しています。

**注意!**

物的損傷または品質低下を招く可能性があることについての注意を示しています。

**注記!**

簡単な作業手順についてのアドバイス、または重要な作業手順についての注意事項を示します。

**環境!**

環境保護に関するヒントを示しています。



手順の指示。



章、位置、図番号、文書の参照。



* オプション (付属品、周辺機器、特別装備)。

時間

ディスプレイの表示。

1.2 適切な使用

- 本機は、最新技術を採用し、適用される安全規則に従って製造されています。しかしながら使用するに当たり、ユーザーまたは第三者の身体や生命に危険を及ぼしたり、機器やその他の物品に損傷を招く場合があります。
- 本機は、技術的に正常な状態で、使用目的に即し、安全かつ潜在的危険を認識して、本取扱説明書の記載内容を順守して使用しなければなりません。
- 本機は、印刷にのみ適しており、メーカーが指定する材料のみを使用することが規定されています。これ以外のその他の使用目的は規定に即していないものとみなされます。誤使用により生じた損傷については、メーカー/販売会社は一切の責任を負わず、ユーザー自身が責任を負うものとします。
- 適切な使用には、メーカーが指定しているメンテナンス推奨事項および規定を含む、本取扱説明書記載事項の順守も含まれています。

**注記!**

その他の文書は納品内容に含まれるDVDに保存されており、以下のリンクから呼び出すことも可能です。

www.te.com/identification。

1.3 安全に関する注記

- 本機は、定格電圧100 V～240 Vの交流電源用に設計されています。本機器は、必ず保護接地端子を備えたコンセントに接続してください。
- 本機器は、安全特別低電圧のかかった機器とのみ接続してください。
- 接続を確立する前、および接続を外す前に、当該のすべての機器(コンピューター、プリンター、付属機器)のスイッチをオフにしてください。
- 本機器は、乾燥した環境でのみ作動させ、湿気(水の飛散、蒸気など)にさらさないでください。
- 本機器は、爆発の可能性がある雰囲気で使用しないでください。
- また、高電圧線付近では使用しないでください。
- カバーを開いた状態で本機器を作動させる場合、衣服、頭髮、アクセサリーなどが露出している回転部品に接触しないように注意してください。
- 機器や部品は、印刷中に高温になる場合があります。作動中は機器に触れず、材料交換および取外し作業は、冷ましてから行ってください。
- カバーを閉じる際に挟まれる危険。カバーを閉じる際は外側のみを持ち、カバーの移動領域を掴まないでください。
- 本取扱説明書に記載されている操作のみを実行してください。その他の作業については、トレーニングを受けた作業員またはサービスエンジニアのみが実施できます。
- 電子コンポーネントおよびこれらのソフトウェアに不適切な介入を行うと、障害を招く場合があります。
- また機器に不適切な作業や変更を行うと、運転安全性を損なう場合があります。
- サービス作業は、必ず作業に必要となる専門知識および工具を有する、正規の業者に依頼してください。
- 本機器には、危険に関して注意を促すさまざまな警告ラベルが貼付されています。危険が認識されなくなるため、これらの警告ラベルは取り外さないでください。
- 最大騒音レベルは70 dB(A)以下です。

**危険!**

電源電圧による生命の危険。

- ▶ 機器のハウジングを開かないでください。

**警告!**

本機器は、クラスAに分類されています。この装置は、住居領域において電波障害を引き起こす場合があります。この場合、事業者に適切な対策を講じるよう要請してください。

1.4 環境



使用済みの機器には、再利用に回収するべきリサイクルが可能な貴重な材料が含まれています。

- ▶ 一般廃棄物と分類し、適切な収集所へ廃棄してください。

本プリンターはモジュラー構造であるため、構成部品は分解することができます。

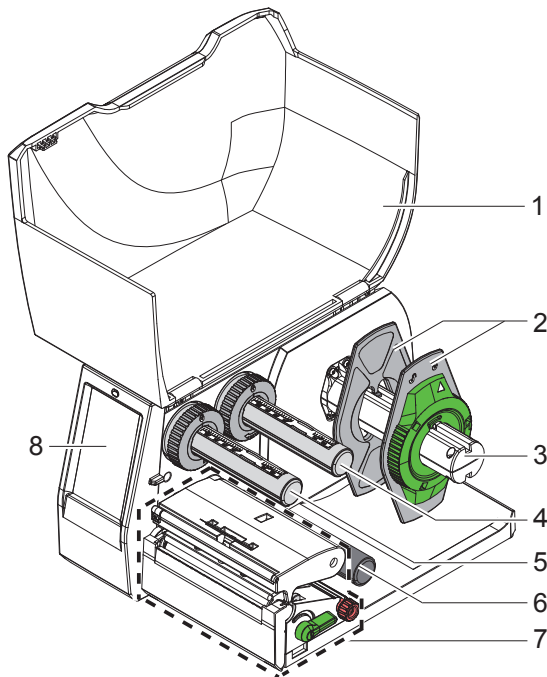
- ▶ 部品はリサイクルしてください。



機器の電子基板には、リチウムバッテリーが装備されています。

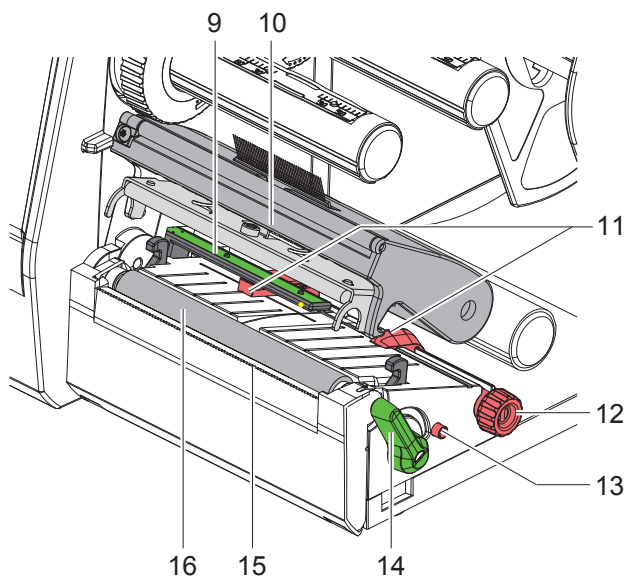
- ▶ このため、これらは販売店の使用済みバッテリー回収ボックスまたは公共の廃棄物回収所へ引き渡してください。

2.1 機器の概要



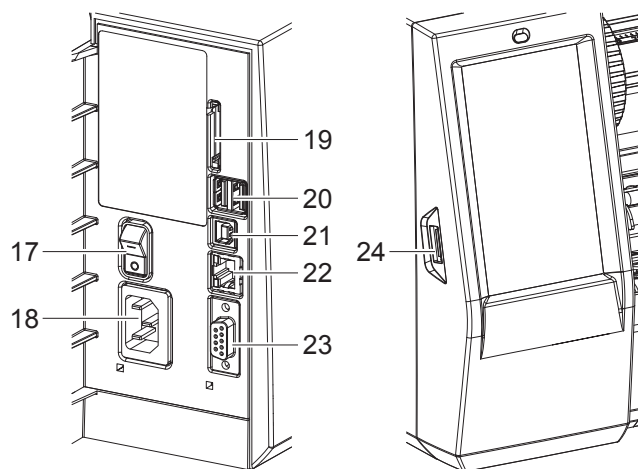
- 1 カバー
- 2 マージンストップ
- 3 ロールホルダー
- 4 転写フィルム巻出し機
- 5 転写フィルム巻取り機
- 6 プーリー
- 7 印刷ユニット
- 8 タッチスクリーンディスプレイ

画像1 概要



- 9 ラベルエッジセンサー
- 10 プリントヘッド付きヘッドホルダー
- 11 マージンストップ
- 12 マージンストップ設定用回転ボタン
- 13 ラベルエッジセンサー設定用回転ボタン
- 14 プリントヘッドロック用レバー
- 15 切り取りエッジ
- 16 プリントローラー

画像2 印刷ユニット



- 17 電源スイッチ
- 18 電源コネクタ
- 19 SDカード挿入スロット
- 20 キーボード、スキャナー、USBメモリーデバイス、Bluetoothアダプター、サービスキーまたはWLANスティック用USBマスターインターフェース2箇所
- 21 USBフルスピード スレーブインターフェース
- 22 イーサネット 10/100 Base-T
- 23 RS-232インターフェース
- 24 サービスキーまたはUSBメモリー用USBマスターインターフェース

画像3 各接続端子

2.2 機器の開梱および設置

- ▶ ラベルプリンターを梱包箱から取り出します。
- ▶ ラベルプリンターに輸送による損傷が生じていないか点検します。
- ▶ プリンターを平坦な台に設置します。
- ▶ プリントヘッド領域にある発泡スチロール製の輸送保護材を取り除きます。
- ▶ 納品内容がすべて揃っていることを確認します。

納品内容:

- T2212-PRINTER
- 電源ケーブル
- USBケーブル
- 取扱説明書
- Windowsドライバ、ドキュメントを含むDVD



注意事項

返却が必要になったときのために、納品時に使用されていた梱包材を保管しておいてください。発送前には印刷物をすべてプリンターから取り除いてください。



注意！

湿気および水分による機器および印刷材の損傷。

- ▶ ラベルプリンターは、乾燥した水滴などがかからない場所に設置してください。

2.3 機器の接続

標準装備で装備されているインターフェースおよび接続端子は、画像3に表示されています。

2.3.1 電源に接続する

プリンターには、ワイドレンジ対応電源アダプターが装備されています。主電源電圧100-240 V~/ 50-60 Hzで作動させる場合は、機器に変更を施さずに使用できます。

1. 機器のスイッチがオフになっていることを確認します。
2. 電源ケーブルを電源コネクタ (18/画像3) に差し込みます。
3. 電源ケーブルのプラグを接地されているソケットに差し込みます。

2.3.2 コンピューターまたはコンピューターネットワークに接続する



注意！

不適切な接地、または接地されていない場合、作動中に障害が生じる場合があります。

ラベルプリンターに接続されているすべてのコンピューターおよび接続ケーブルが接地されていることを確認してください。

- ▶ ラベルプリンターを適切なケーブルを使用して、コンピューターまたはネットワークに接続します。

接続の確立に関する情報は、プリンターCDシエルのカバー内にあるクイックスタートガイド(技術文書 411-121061)を参照してください。

2.4 機器のスイッチをオンにする

すべての接続が確立された後:

- ▶ プリンターを電源スイッチ(17/画像3)でオンにします。
プリンターでシステムテストが実行され、その後、ディスプレイにシステムステータス *Ready*が表示されます。

タッチスクリーンディスプレイを使用して、ユーザーは次のようにプリンターの操作を制御することができます。

- 印刷ジョブの中断、続行、キャンセル
- プリントヘッドの加熱、印刷速度、インターフェースの構成、言語、時刻など印刷パラメーターの設定
- 記憶媒体によるスタンドアロンモードの制御
- ファームウェアアップデートの実行

多くの機能および設定は、ソフトウェアアプリケーションによるプリンター独自のコマンドまたはコンピューターで直接プログラミングすることで制御することができます。

タッチスクリーンディスプレイで行われる設定は、ラベルプリンターの基本設定として適用されます。



注記！
さまざまな印刷ジョブの調整はソフトウェアで行うと便利です。

3.1 スタート画面



画像4 スタート画面

タッチスクリーンは、指で直接触れて操作します。

- メニューを開く、またはメニューオプションを選択するには、対応するアイコンに軽くタッチします。
- リストをスクロールするには、ディスプレイ上で指を上下に移動させます。

	メニューにジャンプ		最後のラベルを繰り返し印刷する
	印刷ジョブを中断する		すべての印刷ジョブをキャンセルし削除する
	印刷ジョブの続行		ラベル送り速度

表 1 スタート画面でのボタン



注記！
無効化されているボタンは暗く表示されます。

一部のソフトウェア設定またはハードウェア設定では、スタート画面に追加のアイコンが表示されます。

		
印刷ジョブなしでリクエストに応じて印刷する	印刷ジョブでリクエストに応じて印刷する	接続されたカット/パンチカッターによるダイレクトカット (付属品)

画像5 スタート画面でのオプションボタン

	印刷ジョブでの各ラベルのカッティングまたはパンチングを含む印刷の開始。		材料搬送なしのダイレクトカットの実行。
---	-------------------------------------	---	---------------------

表 2 スタート画面でのオプションボタン

設定に応じて、ヘッダーにはウィジェット形式でさまざまな情報が表示されます。



画像6 ヘッダーのウィジェット















	インターフェース経由でのデータの受信は、落下する水滴アイコンで表示されます
	機能Save data streamが有効 受信したすべてのデータは .lblファイルに保存されます。
	フィルム終了の事前警告 フィルムストックロールの残り直径が設定された値を下回りました。
	SDカードが挿入されています
	USBメモリーが挿入されています
	グレー: Bluetoothアダプターが挿入されています、ホワイト: Bluetooth接続が有効
	WLAN接続が有効 白い扇型のアイコンはWLAN電波強度を示しています。
	イーサネット接続が有効
	USB接続が有効
	abcプログラムが有効
	時刻

表 3 スタート画面のウィジェット

3.2 メニュー内のナビゲーション



画像7 メニューレベル

- ▶ メニューへジャンプするには、スタートレベルで  を押します。
- ▶ 選択レベルでテーマを選択します。
各テーマには、その他の選択レベルを含むサブストラクチャが備わっています。
 で上位のレベルへ戻り、 でスタートレベルへ戻ります。
- ▶ パラメーター/機能レベルに達するまで選択を続行します。
機能を選択します。場合によっては、プリンターはダイアログが準備された後に機能を実行します。
-または-
パラメーターを選択します。設定オプションはパラメーターのタイプによって異なります。



画像8 パラメーター設定の例








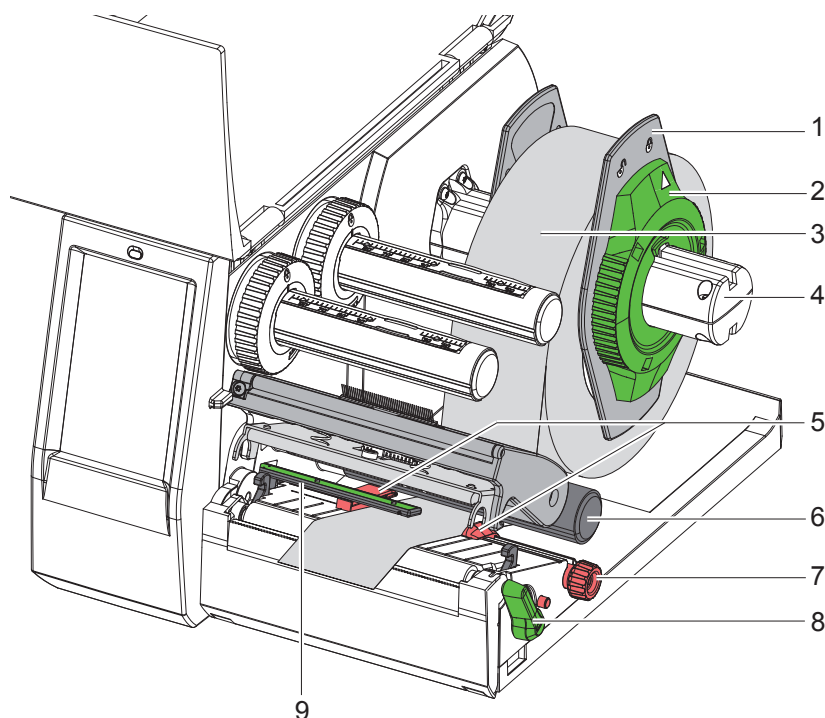
	値の大きかな設定を行うためのスライダー
	値を徐々に低減する
	値を徐々に上昇する
	設定を保存せずに終了する
	設定を保存して終了する
	パラメーターは無効になっており、ボタンを押すとパラメーターが有効になります
	パラメーターは有効になっており、ボタンを押すとパラメーターが無効になります

表 4 機能ボタン

4.1 ロール材料を挿入する



画像9 ロール材料を挿入する

1. カバーを開きます。
2. 調整リング (2) を反時計回りに回し、矢印が□の記号を指し、マージンストップ (1) が外れるようにします。
3. マージンストップ (1) をロールホルダーから (4) に取り外します。
4. 材料ロール (3) は、材料の印刷する側の面が上方を向くようにロールホルダー (4) に押し込みます。
5. マージンストップ (1) をロールホルダー (4) にはめ込み、両方のマージンストップが材料ロール (3) に密着し、押し込んだ際にはっきりと抵抗が感じられるまで押し込みます。
6. 調整リング (2) を時計回りに回し、矢印が□の記号を指し、マージンストップ (1) がロールホルダーにかみ合うようにします。
7. プリントヘッドを開くには、レバー (8) を反時計回りに回します。
8. 刻み付きノブ (7) を使用して、両方のマージンストップ間に材料が合うようにマージンストップ (5) を調整します。
9. 印刷ユニットでプーリー (6) の下に材料を通します。

注意！

- ▶ ラベルエッジセンサー (9) に沿って下に材料を通します。

10. 材料が詰まることなく通るようにマージンストップ (5) を位置決めします。
11. ラベルエッジセンサーを調整する (▷ 4.2 ページ 13)。
12. ヘッドホルダーを下に押し、レバー (8) を時計回りに回してプリントヘッドをロックします。

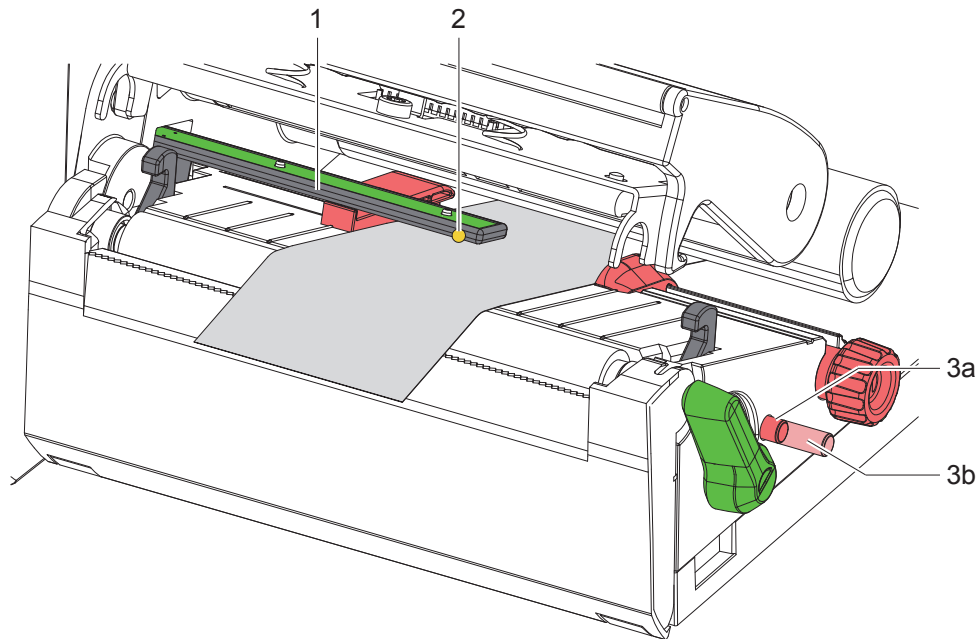
4.2 ラベルエッジセンサーを調整する



注記！

搬送状態ではラベルセンサー (2) が用紙幅の真ん中にあります。
ラベルエッジセンサー (1) の設定は、次に挙げる所定の材料を使用する際にのみ必要です。

- 反射ラベルまたはパンチ穴が中央以外にある材料
- レーン数が偶数である複数レーン材料
- 不定形のラベルを持つ材料



画像10 ラベルエッジセンサーを調整する

センサー位置は黄色のLEDでマーキングされます。

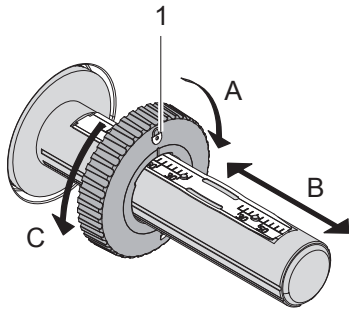
1. プリントヘッドを開きます。
2. 回転ボタン (3) を押して設定位置 (3b) に移動させます。
3. ラベルエッジセンサーは回転ボタン (3) を回して、センサー (2) が、反射マークまたはパンチを検出できるラベルの前端に来るように位置決めします。
4. 回転ボタン (3) を再度押して基本位置 (3a) に移動させます。



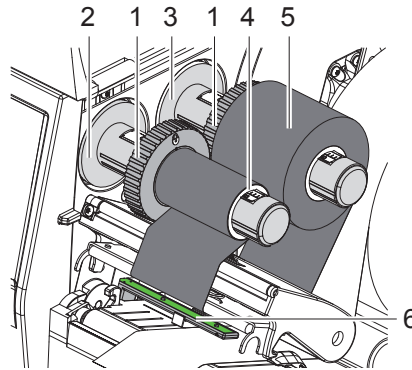
注記！

プリントヘッドを閉じる前に、回転ボタンが位置 (3a) にあることを確認します。

4.3 転写フィルムを挿入する



画像11 マージンストップの設定



画像12 転写フィルムを挿入する

1. プリントヘッドを開きます。
2. 転写フィルムを挿入する前にプリントヘッドを清掃してください (▷ 6.3 ページ 18)。
3. 巻出し機 (3) のマージンストップ (1) を転写フィルムの幅に応じて調整します (画像11)。
 - ワインダーをしっかりと保持し、マージンストップ (1) を A 方向に回転させてロックを解除します。
 - マージンストップ (1) を B 方向にずらし、目盛りを使って転写フィルムの幅に調整します。
 - ワインダーをしっかりと保持し、マージンストップ (1) を C 方向に回転させてロックします。
4. 転写フィルムロール (5) は、マージンストップ (1) まで、巻き出す際にフィルムのカラーコーティングが下方を向くように巻出し機 (3) に押し込みます。

**注記！**

フィルムの巻取りには、ストックロールより幅の広いフィルム芯 (4) が必要です。

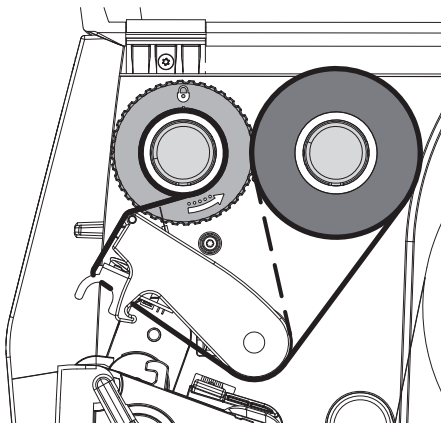
▶ 転写フィルムの交換時、巻取りにはフィルム芯を使用します。

5. 巻取り機のマージンストップ位置は、フィルム芯 (4) の幅に調整し、フィルム芯を巻取り機 (2) に挿し込みます。
6. 転写フィルムを画像13に示されたとおり、印刷ユニットに通します。

**注意！**

▶ ラベルセンサー (6) で転写フィルムをガイドします。

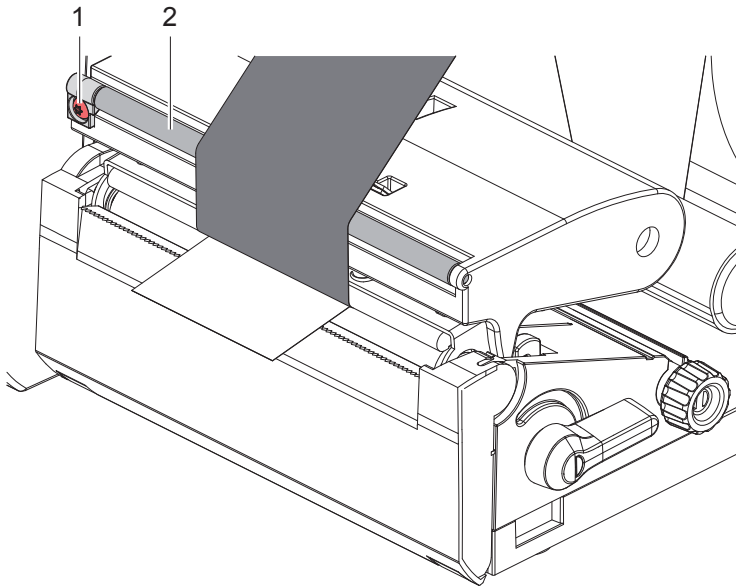
7. 転写フィルム開始端を接着テープの中央でフィルム芯 (4) に固定します。この際、転写フィルム巻取り機の回転方向が反時計回りになっていることに注意します。
8. 転写フィルムフィードをスムーズにするには、転写フィルム巻取り機 (2) を反時計回りに回します。
9. プリントヘッドを閉じます。



画像13 転写フィルムフィード

4.4 転写フィルムフィードを調整する

転写フィルムフィードでしわが生じると、印刷イメージエラーを招く場合があります。しわの生成を回避するため、転写フィルムデフレクター (2) を調整することができます。



画像14 転写フィルムフィードを調整する



注記！
調整は印刷プロセス中に最適に行うことができます。

- ▶ TX10 ねじ (1) を Torxドライバーで回し、フィルムの状態を観察します。
- 時計回りに回して、フィルムを外側に張ります。
- 反時計回りに回して、フィルムを内側に張ります。

**注意！**

不適切な取扱いによるプリントヘッドの損傷!

- ▶ プリントヘッドの下部が指や先の尖ったものと触れないようにしてください。
- ▶ ラベルに汚れがないことを確認してください。
- ▶ ラベル表面が滑らかであることに注意します。粗いラベルは研磨剤のように影響し、プリントヘッドの寿命を低減します。
- ▶ 可能な限り低いプリントヘッド温度で印刷してください。

接続が確立され、ラベルまたは場合により転写フィルムが挿入されるとプリンターは作動準備が完了しています。

5.1 切取りモードでの印刷

印刷後、材料切り取り線は手で切り取ります。

このためにプリンターには、切取りエッジ (2/画像15) が装備されています。

5.2 カッティングモードでの印刷

- * カッティング・パンチングカッターは付属品としてご利用いただけます。付属品についての詳細は、技術文書 TTDS-260 をご覧ください。

6.1 清掃に関する注記

**危険!**

感電による生命の危険!

- ▶ メンテナンス作業を行う前に必ずプリンターの電源を切断してください。

ラベルプリンターの手入れは非常に簡単です。

サーモプリントヘッドを定期的に清掃することが重要です。これにより、均一で良質な印刷画像を確保し、プリントヘッドの早期摩滅を回避することができます。

これにより、実施するメンテナンス作業は毎月の機器の清掃のみになります。

**注意!**

腐食性のあるクリーニング剤によるプリンターの損傷!

機器の表面や部品の清掃に研磨剤または溶剤を使用しないでください。

- ▶ 印刷領域の埃や紙粉は、柔らかな筆や掃除機で取り除きます。

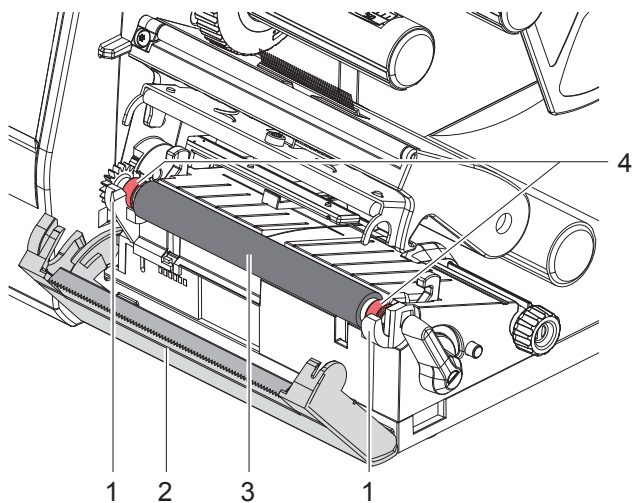
6.2 プリントローラーを清掃する

プリントローラーでの汚れは、印刷画像および材料搬送に悪影響を及ぼします。

**注意!**

プリントローラー破損の恐れあり。

- ▶ プリントローラーの清掃に鋭利な物 (カッターやドライバーなど) を使用しないでください。



画像15 プリントローラー

1. プリントヘッドを開きます。
2. ラベルをプリンターから取出します。
3. 切取りエッジ (2) をよけます。
4. プリントローラー (3) のまず内側、そして外側をホルダー (1) から上に持ち上げます。
5. ローラークリーナーで堆積物を取り除くか、ローラーが破損しているとわかった場合はローラーを交換します。
6. ベアリング (4) 付きローラーをかみ合わさるまでホルダー (1) に押し込みます。
7. 切取りエッジ (2) を戻します。

6.3 プリントヘッドを清掃する

清掃間隔: ラベルロールを交換するごとに実施

印刷中には、プリントヘッドにコントラスト誤差や縦縞といった、印刷画像に悪影響を与える汚れが蓄積することがあります。



注意！

プリントヘッドの損傷！

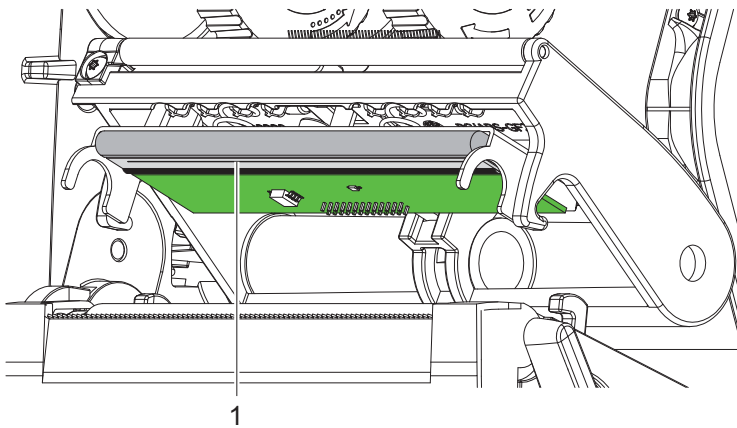
- ▶ プリントヘッドの清掃には、先が尖ったものや固いものを使用しないでください。
- ▶ プリントヘッドのガラス保護層に触れないでください。



注意！

高温になったプリントヘッドによる火傷の危険。

- ▶ 清掃前にプリントヘッドが冷えていることに注意してください。



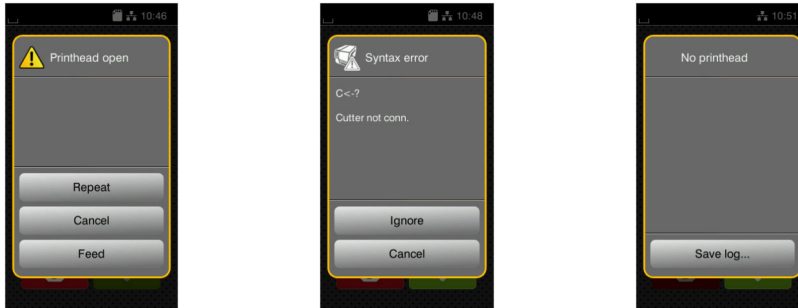
画像16 プリントヘッドのヒーターバー

- ▶ プリントヘッドを上方へ移動させます。
- ▶ ラベルおよび転写フィルムをプリンターから取出します。
- ▶ 印刷バー (1) を純粋アルコール (IPA) と柔らかいクロスで清掃します。
詳細情報については、技術文書「411-121037 Thermal Transfer printhead cleaning instructions」を参照してください。
- ▶ プリントヘッドを2～3分間乾燥させます。

7 トラブルシューティング

7.1 エラー表示

エラーが生じた場合、ディスプレイにはエラーが表示されます。



画像17 エラー表示

トラブルシューティングはエラーの種類によって異なります▷ 7.2 ページ 19。

操作を続行するため、エラー表示には以下のオプションが適用されます。

Repeat	エラー原因を取り除いた後、印刷ジョブが続行されます。
Cancel	現在の印刷ジョブがキャンセルされます。
Feed	ラベル搬送が再度同期化されます。その後、ジョブをRepeatで続行することができます。
Ignore	エラーメッセージが無視され、場合によっては印刷ジョブが制限された機能で続行されます。
Save log	エラーによって印刷プロセスが実行できません。 詳しく分析するため、外部メモリーにさまざまなシステムファイルを保存することができます。

表 5 エラー表示でのボタン

7.2 エラーメッセージとトラブルシューティング

エラーメッセージ	原因	対策
Barcode error	無効なバーコードコンテンツ、例えば数値バーコードにアルファベット文字が含まれているなど	バーコードコンテンツを修正します。
Barcode too big	バーコードがラベルに割り当てられた領域には大きすぎます	バーコードを縮小するか、移動させます。
Buffer overflow	データ入力バッファがいっぱいで、コンピューターがさらにデータを送信しようとしています	プロトコルによるデータ転送を使用します (RTS/CTS推奨)。
Cutter blocked	カッターが不明な状態で材料に留まっています	プリンターのスイッチをオフにします。 詰まった材料を取り除きます。 プリンターのスイッチをオンにします。 印刷ジョブを再開します。 材料を交換します。
	カッターが機能しません	プリンターのスイッチをオフにし、再びオンにします。 再度このエラーが生じた場合は、サービススタッフにご連絡ください。
Cutter jammed	カッターが材料を切断できませんが、初期位置に戻ることができます	Cancelを押します。 材料を交換します。
Device not conn.	既存の機器でプログラミングが反応しません	代替機器を接続するか、プログラミングを修正します。
File not found	記憶媒体で存在しないファイルの呼出しが行われました	記憶媒体の内容を点検してください。
Font not found	選択されたダウンロードフォントでのエラー	印刷ジョブを中断し、フォントを切り替えます。

エラーメッセージ	原因	対策
<i>Memory overflow</i>	印刷ジョブが大きすぎます(例えば取り込まれたフォント、容量の大きい画像など)	印刷ジョブを中断します。 印刷するデータの容量を低減します。
<i>Name exists</i>	ダイレクトプログラミングでフィールド名が重複しています	プログラミングを修正してください。
<i>No label found</i>	ラベルストリップ上で複数のラベルが不足しています	ストリップ上で次のラベルが検出されるまで <i>Repeat</i> を押します。
	ソフトウェアで指定されたラベル形式が実際の形式と一致しません	印刷ジョブを中断します。 ソフトウェアでラベル形式を変更します。 印刷ジョブを再開します。
	プリンターに連続テープが挿入されていますが、ソフトウェアはラベルに設定されています	印刷ジョブを中断します。 ソフトウェアでラベル形式を変更します。 印刷ジョブを再開します。
<i>No label size</i>	ラベルサイズがプログラミングで定義されていません	プログラミングを点検します。
<i>Out of paper</i>	印刷する材料がなくなりました	材料を挿入します
	用紙フィードでエラーが起きました	用紙フィードを点検します。
<i>Out of ribbon</i>	転写フィルムがすべて使用されました	新しい転写フィルムを挿入してください。
	印刷時に転写フィルムが溶解しました	印刷ジョブを中断します。 ソフトウェアからヒーターレベルを変更します。 プリントヘッドを清掃する▷6.3 ページ 18。 転写フィルムを挿入します。 印刷ジョブを再開します。
<i>Printhead open</i>	プリントヘッドがロックされていません	プリントヘッドをロックしてください。
<i>Printhead too hot</i>	プリントヘッドの異常な加熱	一時停止した後、印刷ジョブが自動的に続行されます。 再度発生した場合は、ヒーターレベルまたは印刷速度をソフトウェアで低減してください。
<i>Read error</i>	記憶媒体へのアクセスの際の読み取りエラー	記憶媒体上のデータを点検します。 データを保存します。 記憶媒体を再フォーマットします。
<i>Remove ribbon</i>	直接熱転写印刷に設定されているにもかかわらず、転写フィルムが挿入されています	転写印刷をプリンター設定またはソフトウェアでオンにします。
<i>Ribbon ink side</i>	検知されたフィルムの巻き戻し方向が構成設定と異なります	フィルムが逆方向に挿入されています。 プリントヘッドを清掃する▷6.3 ページ 18。 フィルムを正しく挿入します。
		構成設定が使用するフィルムに適していません。 構成設定を調整します。
<i>Syntax error</i>	プリンターがコンピューターから不明なまたは誤ったコマンドを受信しました	エラーをスキップするには <i>Ignore</i> を押し、印刷ジョブをキャンセルするには <i>Cancel</i> を押します。
<i>Unknown card</i>	記憶媒体がフォーマットされていません 記憶媒体タイプがサポートされていません	記憶媒体をフォーマットする、または別の記憶媒体を使用します。
<i>Voltage error</i>	ハードウェアエラー	プリンターのスイッチをオフにし、再びオンにします。 再度このエラーが生じた場合は、サービススタッフにご連絡ください。 どの電圧が機能停止したか表示されます。これらをメモしてください。
<i>Write error</i>	ハードウェアエラー	書き込みプロセスを繰り返し実行します。 記憶媒体を再フォーマットします。

表 6 エラーメッセージとトラブルシューティング

7 トラブルシューティング

7.3 問題解決法

問題	原因	対策
転写フィルムがねじれている	転写フィルムデフレクターが調整されていません	転写フィルムフィードを調整する。 ▷ 4.4 ページ 15。
	転写フィルムの幅が大きすぎる	ラベルよりも僅かに幅の狭い転写フィルムを使用します。
印刷画像にずれまたは空白部分があります	プリントヘッドが汚れています	プリントヘッドを清掃する。 ▷ 6.3 ページ 18。
	温度が高すぎる	ソフトウェアから温度を低減します。
	ラベルと転写フィルムの不適切な組合せ	別のフィルム種類または他社製のフィルムを使用します。
転写フィルムが終了したにもかかわらず、プリンターが停止しない	ソフトウェアで熱印刷が選択されています	ソフトウェアで熱転写印刷に切り替えます。
プリンターがラベル形式ではなく、文字列を印刷する	プリンターがモニターモードになっています	モニターモードを終了します。
プリンターがラベル材料を搬送し、転写フィルムを搬送しない	転写フィルムが正しく挿入されていません	転写フィルムフィードおよびコーティング面の配置を点検し、必要に応じて修正します。
	ラベルと転写フィルムの不適切な組合せ	別のフィルム種類または他社製のフィルムを使用します。
プリンターがラベルを2つおきにのみ印刷する	ソフトウェアでのフォーマット設定が大きすぎます	ソフトウェアでフォーマット設定を変更します。
印刷画像に白色の縦線が生じる	プリントヘッドが汚れています	プリントヘッドを清掃します。 ▷ 6.3 ページ 18。
	プリントヘッドの故障 (加熱点の機能停止)	プリントヘッドを交換します。 TEテクニカルサポートに連絡します。
印刷画像に白色の横線が生じる	プリンターは、設定 <i>backfeed > smart</i> でカッティングモードで作動しています	セットアップを <i>backfeed > always</i> に切り替えます。
印刷画像が片側のみ明るく印刷される	プリントヘッドが汚れています	プリントヘッドを清掃します。 ▷ 6.3 ページ 18。

表 7 問題解決法

8.1 EU適合性宣言書に関する注記

T2212 PRINTERシリーズプリンターは、以下のEU指令が定める必須健康安全要求事項が適用され、これらを満たしています。

- 指令2014/35/EU に適用される一定の電圧制限内で使用する電子機器
- 指令2014/30/EUが定める電磁適合性
- 指令2011/65/EUが定める 電子・電気機器における特定有害物質の使用制限

EU適合性宣言書

最新のEU適合性宣言書は、TE Connectivity社の最寄の販売代理店にお問い合わせいただくか、または以下のダウンロードリンクから入手いただけます。

▷ [EU適合性宣言書](#)



8.2 FCC

NOTE : This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. The equipment generates, uses, and can radiate radio frequency and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user may be required to correct the interference at his own expense.

主電源電圧.....	8
切り取る	8
切取りモード	16
周辺環境	5
問題解決法.....	21
安全に関する注記.....	5
材料を挿入します	12
機器の概要.....	6
清掃	
プリントヘッド.....	18
プリントローラー	17
注意事項	17
環境保護に配慮した廃棄.....	5
納品内容	8
設置	8
警告ラベル.....	5
転写フィルムフィードを調整する	15
転写フィルムを挿入する	14
適切な使用.....	4
重要な情報.....	4
開梱する	8
電源供給	5
え	
エラー	
メッセージ.....	19
対策.....	19
種類.....	19
さ	
サービス作業.....	5
す	
スイッチをオンにする.....	8
そ	
その他の作業.....	5
ふ	
プリントヘッド	
損傷.....	16
清掃.....	18
プリントローラーを清掃する	17
ま	
マージンストップ	6
り	
リチウムバッテリー	5
ろ	
ロール材料を挿入する.....	12

このページは空白となっています。